

評価結果



1-1 建物概要

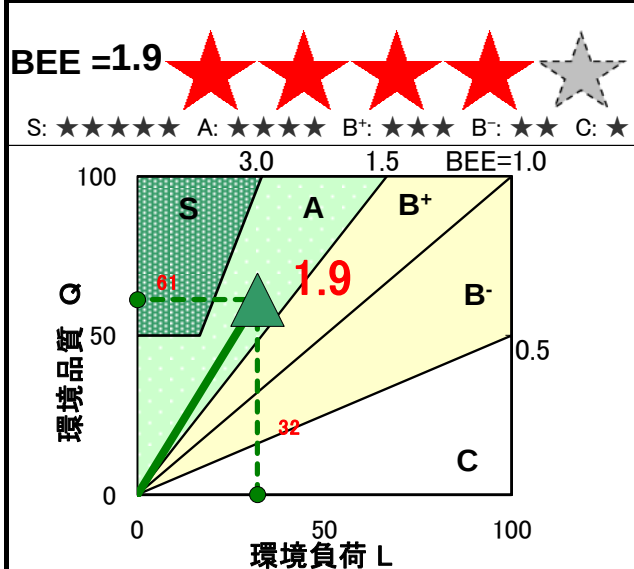
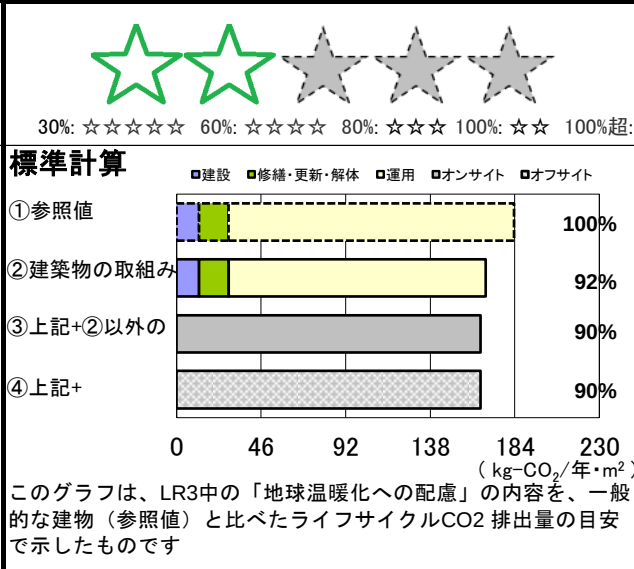
建物名称	特別養護老人ホーム(仮称)亀山の
建設地	広島市安佐北区亀山九丁目3045-2
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域
気候区分	6地域
建物用途	病院,
竣工年	2019年8月 予定
敷地面積	7,423.27 m ²
建築面積	2,029.44 m ²
延床面積	4,866.90 m ²

階数	地上4F
構造	RC造
平均居住人員	281 人
年間使用時間	8,760 時間/年
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2018年7月6日
作成者	植田 知久
確認日	
確認者	

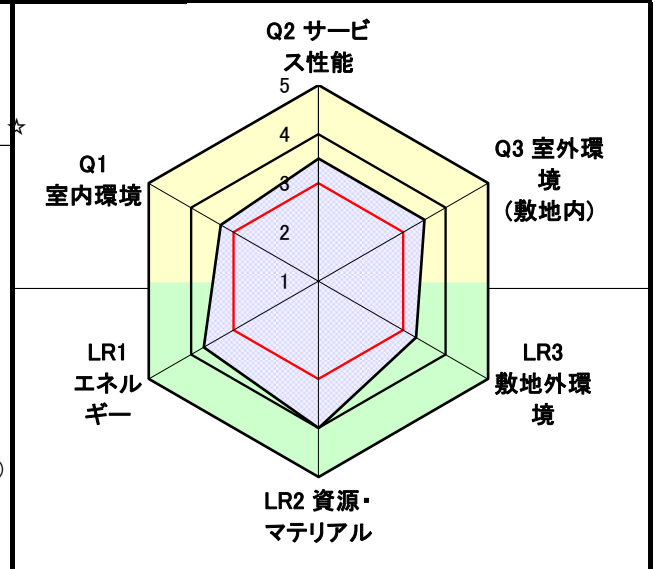
1-2 外観



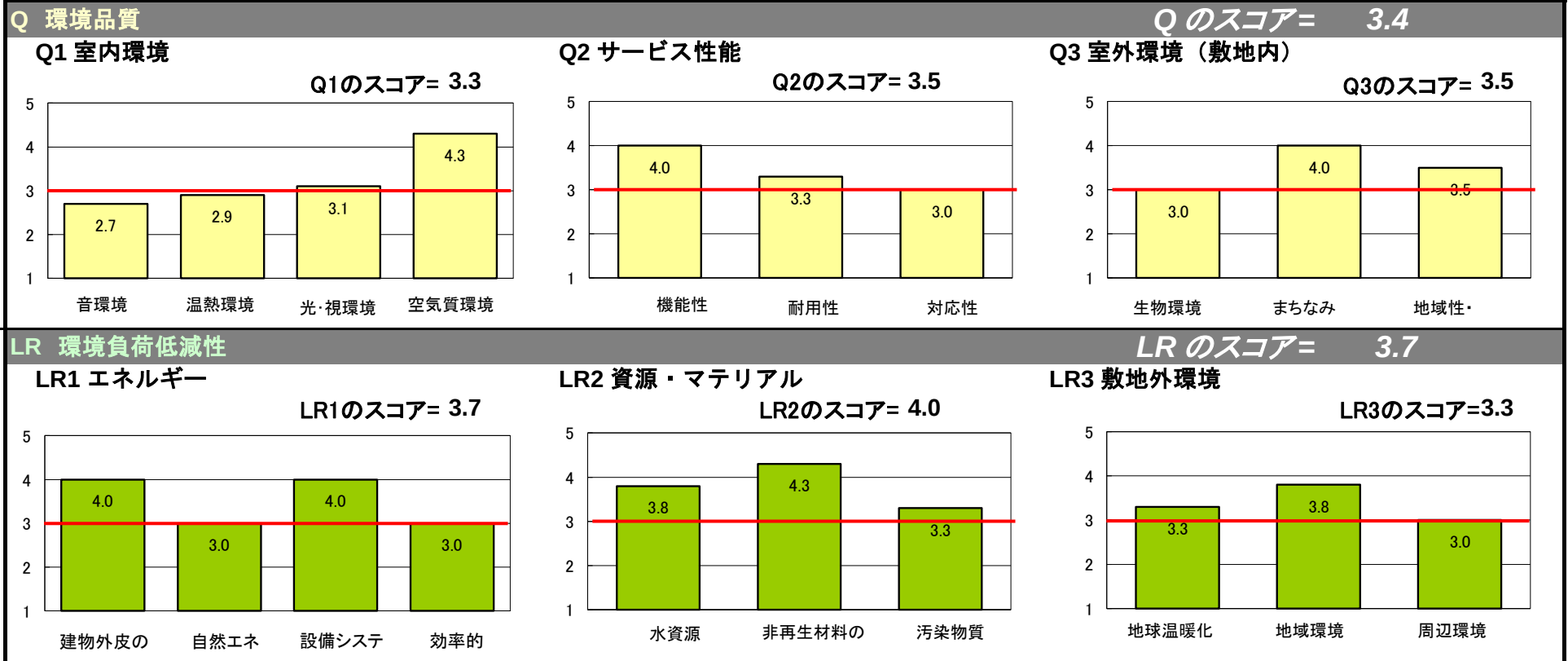
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.6		
「地球温暖化対策」の推進 スコア = 3.8	「ヒートアイランド対策」の推進 スコア = 3.3	「長寿命化対策」の推進 スコア = 3.3
設計の計画に特段に配慮した事項 ・緑化整備による地球温暖化対策 ・太陽光発電システムによる自然エネルギーの変換利用 ・節水型の機器・器具を採用 ・雨水貯留槽の設置による節水・灌水対策等に配慮した。	設計の計画に特段に配慮した事項 ・左に同じ ・最大限の駐車場/駐輪場を整備、搬入車両は分離駐車 ・車寄せボーテ、十分な駐車台数を整備 ・雨水貯留槽の設置による節水・灌水対策 ・芝貼り、緑化、ヒートアイランド対策等に配慮した。	設計の計画に特段に配慮した事項 ・内外装仕上材は耐久性と共にメンテナンス容易な材料を採用 ・設備配管材料等は耐用年数の高い材料を採用 ・節水型の器具・機器の採用 ・EPS/PSの適正配置による更新性の向上等に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される